

労働安全衛生に関する取り組みレポート 2025

01 安全で健康な職場環境に向けた取り組み

02 交通事故ゼロを目指した取り組み

参考 労働災害および交通事故実績

安全で健康な職場環境に向けた取り組み 1/2

①リスク低減活動

職場に潜む危険を洗い出し、影響の大きさを踏まえリスクを低減する活動を推進

②労働安全衛生教育

- ・入職者・異動者への基本教育に加え、全従業員への年次フォローアップ教育を実施
- ・職制や安全衛生委員向けの階層別教育、交替勤務者向けの安全衛生教育を実施
- ・安全体感教育や安全漫画を活用し、わかりやすい内容で安全意識の向上を目指す

③安全・健康KYT（危険予知トレーニング）による意識向上

実際に起こった労災や疾病に基づき、全職場でKYT活動を推進

④職場巡視

衛生管理者・安全管理者および産業医が定期的に職場巡視を行い、危険箇所の是正実施

安全漫画



（（C）日経BP・オリンパス）

安全体感教育体感



[目次に戻る⇒](#)

安全で健康な職場環境に向けた取り組み 2/2

⑤ISO45001マネジメントシステムに沿った管理

危険の把握や対策実施、効果の確認、必要な見直しを繰り返す事で継続的に改善

⑥化学物質リスクアセスメントの実施

厚労省のツールを活用して薬品の危険性を見える化し、労災や健康被害を未然防止

⑦製造現場や事務スペースの作業環境測定

職場の空気や騒音などを定期的に測り、働く環境の安全性を確認

⑧全国安全週間、全国衛生週間に合わせた活動

職場の安全や健康への意識を高め、労働災害や健康障害を防ぐ取り組みに参加

⑨防災活動の推進

地震や火災等の災害に備え訓練や対策を行い、日頃から有事対応力を強化

ISO45001認証



総合防災訓練



[目次に戻る⇒](#)

交通事故ゼロを目指した取組み

①通勤・車両チェックおよび自主点検

敷地内の運転や車両状態に加え、車検等の期日を確認し法規制遵守状況を確認

②交通安全教育

- ・新入社員向けの交通安全教育や自動車学校での運転トレーニング実施
- ・全従業員を対象に年次教育と交通安全講話を行い、安全意識を向上
- ・飲酒運転防止教育を年2回実施し、事故防止を徹底

③通勤リスクアセスメント

通勤経路における危険箇所を自分で確認し、事故防止意識を醸成

④交通KYT（危険予知トレーニング）による意識向上

季節に合った事象、交通事故発生時は事例を基にした交通安全KYTを各部署で展開

交通KYT

1. 交通KYT

CHECK Point !
安全な車間距離の目安
前方の電柱や標識などの目標物を前車が通過後に自車がその目標物に到達するまでの時間(秒数)が最低でも2秒以上、できれば3秒以上とるのが望ましいとされています。



CHECK Point !
状況に応じていつもより長い車間距離をとる必要性
上記の安全な車間距離の目安は、乾燥した路面で、ドライバーも疲労等のない正常な状態、車の整備状態も適正という条件のもとでの目安です。
路面が濡れていたり、ドライバーが疲れているとき、タイヤが摩耗しているときなどは、いつもより長い車間距離をとる必要があります。



新入社員教育

交通事故の影響

交通事故の可能性は誰にでもある。
「運転する」ということは、便利さと引き換えに非常に大きなリスクを背負っていると理解する必要がある。

- ・ **体の負傷**（怪我、後遺症など）
- ・ **心の負傷**（トラウマになる など）
- ・ **刑事上の責任**（罰金、懲役・・・）
- ・ **行政上の責任**（免許取り消し）
- ・ **民事上の責任**（億単位の賠償金・慰謝料）

[目次に戻る⇒](#)

参考 労働災害および交通事故実績 ※（ ）内は白河事業場全体実績

労働災害実績

労働災害種別		2023年度	2024年度	2025年度
化学物質による災害		0 (0)	1 (0)	0 (0)
休業災害		2 (2)	0 (0)	0 (2)
不休災害		2 (3)	7 (7)	7 (8)
微傷災害件		5 (5)	1 (1)	2 (3)
労働災害による死亡者		0 (0)	0 (0)	0 (0)

交通事故実績

事故種別		2023年度	2024年度	2025年度
通勤	加害事故	13 (15)	11 (13)	10 (14)
	自損事故	3 (4)	1 (2)	1 (2)
業務	加害事故	0 (0)	0 (1)	0 (0)
	自損事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)

[目次に戻る⇒](#)